

令和5年度山口県立大学大学院国際文化学研究科国際文化学専攻入学試験【追加】

問題
(日本語)

次の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

「古き良き教養」と「ファスト教養」。この二つの概念は、たまたまどちらも「教養」という言葉で括られてはいるが志向しているものは全く異なる。これらの考え方が整理および定義されることなく進められる「最近では教養がちょっとしたブームになっている」というような言説は、昨今の実態にそぐわない形に①チャクチすることが多いように思える。今現在「ブーム」になっているのは後者に回収されるもの、つまりは「何か(たいていの場合はビジネス)に役立てるため」という明確な目的と結びつく形での教養のあり方である。そういった状況への②メクバせなく教養の歴史をたどっても、現実に対するA処方箋にはなりえない。

たとえば「中央公論」二〇二一年八月号の特集「教養と自己啓発の深い溝」において東京大学・国際基督教大学名誉教授の村上陽一郎は「教養がある」ことを「B慎みがある」と定義し、「C野放図な欲望の発揮を慎む(ことによって、理性が命ずる道徳律をも遵守しようとする)ための原動力として教養を考えることは、間違っていないと私は考えます」と述べている。従前の「古き良き教養」のあり方とは③シンワセイの高い切り口(かつすべての社会人が持つべき視点)ではあるが、金銭欲や承認欲求を加速させるイガソリンとしての「ファスト教養」全盛の時代に納得感を伴って受け入れられる可能性は低いのではないだろうか。

(レジー『ファスト教養 10分で答えが欲しい人たち』集英社、2022年、32-33頁。出題のため、一部を改変した)

問1 傍線部①②③のカタカナを漢字で書きなさい。

① チャクチ ② メクバ (せ) ③ シンワセイ

問2 傍線部A、B、Cの漢字のよみをひらがなで書きなさい。

A 処方箋 B 慎み C 野放図

問3 傍線部ア、イの語はどのような言葉に置き換えることができるか、書きなさい。

ア 深い溝 イ ガソリン

問4 この文章の中にある、「教養」についての二つの考え方について、200字以内でまとめなさい。

